

令和3年5月27日

林野庁森林整備部長 小坂 善太郎

本日、一般社団法人森林技術コンサルタンツ協議会の令和3年度通常総会が開催されるに当たり、一言御挨拶申し上げます。

はじめに、本日御列席の皆様方におかれましては、日頃より、調査研究を通じた森林技術の開発、森林技術者の技術力の向上等をもって、国土の保全、森林・林業の発展に御尽力されていることに、深く敬意を表します。

昨年蔓延した新型コロナウイルス感染症につきましては、現在もなお収束しておらず、依然として社会経済、日常生活に影響を与えております。加えて、令和2年7月豪雨をはじめとする自然災害により、全国各地で甚大な被害が生じました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。また、現場で復旧・復興に御尽力されている関係者の皆様に関心から御礼を申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興に向けた支援等に林野庁といたしましても全力で取り組んでまいります。

近年は、毎年のように大規模な山地災害や風水害等が頻発するなど、森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能により国民の皆様生命と生活を守ることの重要性が一層増してきており、政府において、防災・減災、国土強靱化に向け、昨年度までの緊急3か年対策に続き、本年、新たに5か年加速化対策が措置されたところです。林野庁といたしましても、被災地での災害調査に職員を派遣するなど技術支援を行うとともに、引き続き、森林整備や治山対策等を適切に推進し、災害に強い森林づくりを進めてまいります。

また、本年は政府一体となったデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現に向けた動きが本格化してまいります。従来、治山・林道事業は、山間奥地の急峻な地形等で行われることが多く、デジタル技術の利活用は難しい面がありましたが、昨今の衛星測位技術や情報通信技術（ICT）の目覚ましい発展を受けて、新たな森林・林業基本計画案において、森林土木分野の調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までのあらゆる建設プロセスで ICT を活用して生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す「i-construction」を促進するとしています。

こうした取組を着実に前進させるためには、専門的かつ高度な知識と技術を有する森林技術者は不可欠であり、その役割は非常に大きいものとなっております。今後とも本協議会及び会員の皆様の御支援、御協力が必要と考えております。引き続き、森林技術の開発・発展、森林技術者の技術力向上に御尽力くださいますよう心からお願い申し上げます。

終わりに、本協議会のますますの御発展と、御列席の皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人 森林技術コンサルタント協議会  
令和3年度通常総会祝辞

日時：令和3年5月27日(木)14:00～  
場所：アルカディア市ヶ谷会議室

本日ここに、一般社団法人森林技術コンサルタント協議会の令和3年度通常総会が開催されますことに、心からお祝いを申し上げます。

また、日頃より直轄治山・林道事業の円滑な推進をはじめ、国有林野事業の業務全般への御理解・御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本日の通常総会も新型コロナウイルス感染症の拡大防止に万全の対策を講じて開催されておりますが、会員の皆様には、密閉・密集・密接の「3つの蜜」を避けつつ事業を継続する、或いは感染リスクが高まる「5つの場面」を避けるといった「新たな生活様式」にも適切に対応していただいております、改めて感謝申し上げます。

また、治山・林道事業の調査・測量・設計業務において優れた成績を収められ、表彰を受けられた皆様に心からお祝いを申し上げます。

昨年も令和2年7月豪雨等により全国各地で甚大な被害が発生しました。加えて、年末からの大雪や、2月の福島県沖を震源とする最大震度6強の強い地震など自然災害が相次いで発生しております。これらの被害に遭われた方々、関係者の皆様に哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

会員の皆様には、被害状況の確認や応急対策、その後の復旧計画の策定等に大変な御協力をいただいていることにお礼を申し上げます。

さて、皆様御案内のとおり新担い手3法の整備により、公共工事の品質確保に必要な調査・測量・設計についても法に位置付けられ、働き方改革の推進、生産性の向上、技術の維持向上などに努めることとされたところです。

治山・林道事業に係る調査・測量・設計は、地形急峻な山間奥地で行われることが多く、森林・防災技術に係る豊富な知見と高度な技術力等が要求されるものであることから、技術の維持・向上に加え、それらの技術を有する方々が治山・林道事業の品質確保の担い手として中長期的に育成されるとともに、将来にわたり確保されなければなりません。

国有林としましては、近年急速に技術の高度化が進んでいる航空機やドローン等を用いたレーザー計測による3次元測量や、設計における3次元データ作成など、最先端のICT技術の活用に向けた取組を引き続き進め、治山・林道事業における働き方改革や生産性向上に取り組んでまいり所存です。

林業の成長産業化や緑の国土強靱化を実現するためには、将来にわたり事業を着実に実施していくことが重要となっており、これらの施策を地域においてしっかりと効果につなげていくため、貴協議会とも定期的に意見交換を行わせていただいているところです。

今後とも入札・契約から業務履行の各段階を通じた各種改善を進めて参りますので、御理解、御協力をお願いします。

これらの施策を効果的・効率的に進めていくためには、林野行政の推進に御尽力いただいている貴協議会の会員の皆様をはじめ、関係者が一体となった取り組みが不可欠であり、引き続き皆様方の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、森林技術コンサルタンツ協議会並びに本日御参集の皆様方の御健勝と御発展を祈念申し上げ、祝辞といたします。

令和3年5月27日

林野庁国有林野部長 橘 政行